

Yes, We Can.

先進のベストソリューションをいつも

ありがとう通信

Oct.
2017

vol. **43**

エレックスの技—19

マーレーループ法による高圧ケーブル 遮蔽層(シールドアース)の故障点調査

高圧ケーブルの遮蔽層(シールドアース)には電気を安全に供給する為、大地に接地が施されています。その他、高圧ケーブルが絶縁破壊した際に地絡電流を流し、地絡保護範囲を制限する役割もあります。遮蔽層(シールドアース)の絶縁が低下した場合、高圧ケーブルの被覆に損傷の可能性や、水気があれば水が高圧ケーブル内部へ浸入し、水トリーなどの劣化にも繋がる考えられます。また遮蔽層に循環電流が流れることにより、地絡保護装置の誤動作の恐れも考えられます。エレックス極東では、ホイートストーンブリッジを応用したマーレーループ法やマーレーフッシャー法により、高圧ケーブルの遮蔽層の故障点(地絡点)を特定し、予防保全に役立てます。

特集

改正FIT法で太陽光発電設備の
O&M(Operation:運用管理とMaintenance:保守管理)
が義務化に